

令和5年度 学校自己評価システムシート

日高市立高根小学校

目指す学校像	豊かな心とやる気、自信をはぐむ学校
重点目標	1. 確かな学力の育成 2. 豊かな心と健やかな体の育成 3. 環境教育及び学校環境の整備・充実 4. 開かれた学校づくりの推進

年度目標		学校自己評価				令和5年度評価 (令和6年1月31日現在)		学校運営協議会での評価	「学校運営協議会での評価」を受けて
評価項目	具体的方策	評価指標	A+Bの割合		目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策 〔・次年度へ継続する課題 ・改善していくための方向性〕	実施日 令和6年2月16日	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等 (※変更点や追加事項等がない場合は空欄)
			職員	保護者				学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	
組織運営の充実 (小中一貫の視点)	○教育目標の具現化 ○組織の活性化	1 学校は、学校教育目標「知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成」に努めている。	100	97	・保護者会や学校行事で校長より学校教育目標について周知する時間を設けた。 ・教職員が共通理解のもと児童への指導にあたり、「楽しく通う場となっている」「教職員が協力している」と答えた保護者は昨年度より増加した。 ・小中連絡会を確実に実施し、教育課程や年間指導計画を小、中学校の教職員同士で検討できた。また荷物の引越しをスムーズに進めることができた。	A	・義務教育学校の開校に伴い、学校教育目標を周知する機会をこれまで以上に設定したり工夫したりする。また、全教職員で目標を達成する。 ・「学校は楽しい」と答えなかった15%の児童については組織的に対応し、情報共有や対応を迅速に行う。 ・前期課程と後期課程の教職員が連携し、児童生徒が充実した学校生活を送れるような教育課程、年間指導計画を日々研究する。	・いじめの土壌を作らない、変えて行くという対応は大変良いと思う。 ・気になる点として「学校は楽しい」と答えなかった割合が15%とある。その理由の分析と課題抽出、課題対応をお願いする。	
		2 学校は、児童生徒にとって楽しく通う場となっている。	100	94					
		3 学校は、教職員が協力して児童生徒の教育を行っている。	100	96					
基礎学力の定着	○学習規律の確立 ○学習習慣の確立	4 学校は、児童・生徒が学習規律を守り、前向きに授業に取り組むための指導に努めている。	94	94	・児童へのアンケート調査では「学校の先生は、勉強を分かりやすく教えてくれる」と98%の児童が答えた。 ・日高市教育研究会、日高市教育委員会委嘱「自ら進んでコミュニケーションをとる児童」の研究発表会を11月に実施し、国語の「話す・聞く」について日高市内の教員に研究の成果を発表できた。 ・保護者の記述から、漢字テストや日記の取組について高評価をいただいた。	A	・発達段階に応じた学習規律が身につくよう、粘り強く指導する。また、よくできているところを認めながら前向きに授業に取り組めるよう、学校研究で教員の指導力を高める。 ・家庭と連携しながら、効果的な家庭学習について働きかける。 ・市が導入しているタブレット端末を利用した個別学習を活用したり、教科担任制を導入したりして、一人一人の学力の把握と、それに適した指導を確実に行う。	・本年度は、小中一貫義務教育学校開校1年前の超多忙な時期であったにもかかわらず、児童の自主性の尊重を大切にし、児童たちに向き合い、授業や学校行事等への対応に対し感謝する。	
		5 学校は児童・生徒の学習習慣が身につくような取り組みに努めている。	94	93					
		6 学校は、児童・生徒の生徒一人一人を伸ばす学習指導の工夫に努めている。	94	93					
保護者や地域との連携 (コミュニティ・スクールの視点)	○学校の積極的公開 ○地域との連携	7 学校は、授業や行事等、教育活動の様子をわかりやすく伝える努力をしている。	100	94	・授業参観を各学期ごとに全学級公開し児童の様子を伝える機会を設けた。 ・ホームページに活動の様子を掲載し、地域に発信した。	A	・内容や時期を精選しながら、学校公開日を設定したり、ホームページに記事を公開したりする。 ・PTAと協力し、PTA活動に保護者が参加しやすいような体制づくりを行う。また活動内容を周知する。 ・学校評価アンケートの回収率をさらに上昇させるよう、オンラインでの回答に限らず、複数の回答方法を提示したり、周知の仕方に工夫を凝らしたりする。	・PTAの活動そのものの検討が必要である。 ・昨年度学校だよりの地域内回覧タイミング遅れについての改善をお願いしたが、年初に関係部門間合せて対応していただいたお陰で回覧タイミングの遅れは解消した。	
		8 学校は、PTA組織や地域と協力して教育活動に努めている。	100	91	・PTA、地域と学校行事の準備・片付けや引越し作業を協力して行った。 ・埼玉女子短期大学や浦和レッズハートフルクラブと連携した授業を実施した。 ・学校評価アンケートを年2回実施した。2回目の回答数は昨年度より増加した。				
		9 学校は、保護者や地域の期待や要望に耳を傾け、期待に応える努力をしている。	100	85					
社会性・人間性の育成	○自己実現を図る特別活動の推進 ○生徒指導の充実	10 学校は、感動ややりがいのある学校行事や学級・学年の活動となるように努めている。	94	91	・運動会や全校遠足では異年齢児童同士のかかわり合いを大切に活動を実施した。 ・いじめアンケートを各学期に行った。得られた情報は校務支援システムを効果的に活用し、教職員全体で共有しいじめ問題の予防、改善指導を行った。	A	・前期課程、後期課程とのかかわりを意図的に増やす等、児童生徒が達成感をもってやり遂げられる学校行事の内容や方法を検討し続ける。 ・いじめアンケートの他にも、全教職員でいじめの早期発見、対応を行ったり、保護者面談を実施したりしていじめ問題の予防や改善指導を行う。 ・これまで同様、各種たよりを通じて家庭と連携するとともに、家庭教育アドバイザー等他機関とも連携し基本的生活習慣を培う。	・一貫校開校後の変化に期待する。 ・いじめ問題や生活習慣を培う指導について、大変な苦勞の中で、よくやっていただいている。特にいじめ問題については苦勞が大きいと思うが、引き続き対応をお願いする。	
		11 学校は、いじめ問題への予防や改善指導に適切に努めている。	100	94					
		12 学校は、基本的生活習慣を培う指導を家庭と連携して行っている。	88	88	・学校だよりのほけんだより、給食だよりの通し、基本的生活習慣について啓発した。				
安心安全な教育環境	○潤いのある環境整備 ○学校事故未然防止 ○安全点検の励行	13 学校は、きれいに清掃が行き届き、掲示物も整備されている。	94	93	・たてわり清掃で全校児童が学校に愛着を持って清掃に取り組んでいる。また委員会活動で児童の手による掲示物を作成した。	A	・統合に伴う工事で新しい設備が増えたため、さらに感謝と愛情をもって学校をきれいに使う態度を児童生徒に育成する。 ・ボランティアだけでなく、保護者の協力も得ながら、校内外の環境整備を行うことで、複数の目で点検する体制を整える。 ・避難訓練や引き渡し訓練は形式的なものではなく最新の事例を踏まえ、本校の課題を明らかにした上で計画、実施する。また、児童生徒が自ら考えて行動できるよう、訓練時だけでなく日頃より指導する。	・環境整備・安心安全の確保について、学校は平日頃より気配り目配りされている。 ・安心安全については、学校のみならず地域の安全を含め、地域学校協働活動推進(PTAや自治会内防犯・防災組織)と連携した対応を、地域学校協働活動の中で考える。	
		14 学校は、校舎や校庭など安全に使用できるよう整備している。	100	96	・校舎内外は環境整備ボランティアの協力により整備されている。 ・避難訓練は学期ごとに「余震がきた場合」「不審者が職員玄関にきた場合」「新設された家庭科室から出火した場合」と、現状から課題をあげて取り組むことができた。				
		15 学校は、事故防止や緊急時に備えた指導によく取り組んでいる。	94	96					

※達成度：「A」ほぼ達成(評価結果の全てが8割以上)・「B」概ね達成(評価結果の全てが6割以上)・「C」変化の兆し(評価結果の全てが4割以上)・「D」不十分(評価結果の全てが4割未満)